

事例検討会 vol.18 開催レポート（2025年8月26日開催）

今回は「罪に問われた広汎性発達障害の方の更生支援計画」について検討しました。提供者による事例紹介の後、参加者が質問をし、事例の詳細を明らかにしました。その後、グループに分かれてディスカッションを行い、内容を全体に共有しました。参加者には弁護士や社会福祉士、支援コーディネーターなど多様な方々が参加してくださり、活発な議論が行われました。

事例検討会では実際の事例を取り扱うため、当事者の方がぶつかる社会の壁が浮き彫りになります。議論の中心は当事者の罪の意識や障害の自覚などの心理的な支援についてでしたが、そこには生活保護の制度やコミュニティの少なさといった複合的な課題がありました。私たちは当事者の方の罪に問われた部分のみで判断してしまいがちです。ですがそこに至るまでの経緯や心理的な要因を紐解いていくと、一概に誰が悪い何が悪いとは言えません。このような背景を知っていくことが、今後の支援に繋がる一歩だと感じ、大きな学びになりました。

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

東京 TS ネット学生サポーター 磯山愛

